

北般若だより

2025年(令和7年)4月1日
第337号
北般若自治振興会
北般若公民館

eスポーツ交流会が開催

「第一回 e スポーツ交流会」が、去る3月2日(日)午後2時より北般若公民館一階大ホールで盛大に開催されました。この交流会は、高岡市より「若者地域活動支援補助金」制度を受けて、eスポーツを活用して三世代又は地域内の交流を目的とし北般若自治振興会が企画しました。

当日は、総勢88名(児童34名、親22名、祖父母9名、役員23名)の参加があり、3グループに分け「太鼓の達人」、「テニス」、「ボーリング」の三種目を順番に、大型テレビに映し出され、体を動かして競技を楽しみました。

児童達は、大人より上手でこの日ばかりは思い切り出来ると張り切っていました。大人の人達は、今回初めてeスポーツを体験する人ばかりでした。「ボーリング」では、大人顔負けのフォース(4回連続ストライク)を出し210点を出す児童もいました。

大会終了後のアンケートでは、「児童達は大変喜んでいた!」、「児童達は次回もあれば是非参加したいと言っている」、「他の地域の方との交流が良かった」、「種目別の大会があれば良い」とか「参加人数が多すぎたのでは?」等多数の意見が寄せられた。振興会では、今後各児童クラブや各自治会等に機器を貸し出し普及して、第2回目は大会形式での開催等を検討しています。

大清水 林光彦



補助金」制度を受けて、eスポーツを活用して三世代又は地域内の交流を目的とし北般若自治振興会が企画しました。



ネットで申し込みOK

北般若地域交流センター(北般若公民館)の利用申し込みがインターネットからできるようになりました。

【利用申し込み】インターネットの富山県公共施設予約システムからできるようになります。(当分の間は、従来の書面でも可能です)

【公民館の鍵の受取・返却】従来、公民館の閉館時間帯利用の場合は、鍵保管者から事前に借りていましたが、インターネットによる利用申し込みが導入された事にもない、

公民館玄関前のキーボックスから番号を入力して鍵を取り出し返却することになります。(当分の間は、鍵保管者から借りることも可能です)

【お願い】今後ネットによる円滑な運用に向け公民館利用される団体は、団体名・責任者・メールアドレス等の必要事項を登録用紙に記入をお願いします。

※詳細は公民館にお尋ねください。 公民館管理者

今年の歩道除雪など

富山県が進める「歩道除雪協力活動」に今年も3度目の応募の認可を受けて活動しています。県管理の県道沿いの歩道を除雪するもので、高岡庄川線沿いの毘沙門堂前から西部金屋戸出線の吉住新交差点までの歩道 1.5 kmの区間を、県が貸与するハンドガイド除雪機(80 cm巾)を用い協力者6名で毎朝降雪量 15cmを目安に二人一組で作業しています。昨年までは12月と1月に3、4回の稼働でしたが、今年は2月に8回と例年の倍の稼働になりました。また今年は一ひとり暮らしの女性宅から雪かきの要請があり宅道の除雪も実施しました。 西部金屋 高畑祐一



第59回卒業証書授与式を終えて

6年間ともに学んだ35名が、3月17日、立派に成長した姿をみんなの心に刻み、戸出東部小学校を卒業しました。1~5年生は感謝の気持ちで見送りました。

今年度の卒業生はコロナ禍を経て、高学年ではたくさん校外学習に出かけることができるようになり、貴重な体験をし、仲間との絆も深めました。総合的な学習の時間には、今日的な課題を解決しようと、探究を進めました。全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールに挑戦した経験等を通して、豊かな創造性と表現力も育みました。予測不可能なこれからの時代をたくましく生きていくために、小学校時代に身に付けた力を基に中学校ではさらに経験や学びを積み重ね、大きく成長してほしいと思います。35名の未来に幸多かれと願います。

高岡市立戸出東部小学校 校長 吉田真寿美

祝卒業 戸出中学校

3月13日(木)高岡市立戸出中学校第78回卒業証書授与式が行われました。藤田みゆき校長から卒業生1人1人に卒業証書が手渡された後、「自分を信じて努力を続ける人、周りから信頼される人になってほしい」と、はなむけの言葉が贈られました。

そして卒業生を代表して田村陸さんが3年間の中学校生活を振り返り、「大好きな母校戸出中学校で過ごした日々を忘れずに、私たちらしく、明るく元気に前進していきます」と、未来に向かって力強く答辞を述べていました。来賓や保護者、在校生の見守る中厳粛に式は進行し、最後に美しい卒業の歌「群青」が体育館に響き渡りました。教室で担任と最後のホームルームを終えた後、チューリップの芽吹く温かい日差しの中、在校生や保護者に見送られ、105名の卒業生は学び舎を巣立ちました。

高岡市立戸出中学校 教頭 北村陽一



義仲の虚像と実像

3月16日、北般若公民館文化講演会を演題『猛将木曾義仲~倶利伽羅峠に想いを馳せて~』で開催致しました。講師は、小矢部市観光課課長の船見幸広氏。講演の後、講演の内容を語って頂きました。

平安時代末期、源平合戦で活躍した「武将木曾義仲と巴御前」。富山県内には、義仲ゆかりの地が多く残されており、北般若公民館の周辺にも、「駒かけの松」をはじめ、「般若野古戦場・弓の清水」「御河端」「駒繋ぎの松」など、ゆかりの史跡・伝承が点在しています。それら点と点を線で結ぶと、義仲の進軍ルートが想像されます。

倶利伽羅峠の戦いに勝利した義仲は入京を果たし、後白河法皇から「朝日(旭)将軍」の称号を賜ります。しかし、京の治安回復が滞り、法皇と対立したことから、義仲は鎌倉の源頼朝に滅ぼされます。このことから、悪者というイメージが強かった義仲ですが、近年の歴史研究の成果から「義理人情に厚い」人物であったことが明らかになりつつあります。義仲の菩提寺「義仲寺」には、義仲の生き様に共感した江戸時代の俳聖、松尾芭蕉の墓が並んで建立されています。芭蕉のような人物にも慕われた義仲の人間味あふれる人柄が想像されます。

地域に残されている史跡・伝承から義仲の人物像を探り、いつの日か「大河ドラマ」の主人公として放映されることを期待します。 小矢部市観光課 課長 船見幸広

【お知らせ】

公民館に新しい印刷機が入りました。長年(16年間)働いてくれた旧機がとうとう寿命を全うし入れ替えることになりました。これからも多種多様の印刷に貢献し皆様へ情報を発信していけるとおもいます。 北般若公民館

北般若地区等の動き

4/8 戸出東部小学校入学式

4/9 戸出中学校入学式

4/17 なのはな元気教室

4/27 北般若自治振興会 北般若公民館 総会

